

木馬会会報 (第107号)

* 有馬記念特集 *



98/12/25

～木馬達の予想～

本誌 トゥインクルダンディ

◎エアグルーヴ ○セイウンスカイ ▲ユーセイトップラン

△ダイワオーシュウ、ステイゴールド、キングヘイロー、メジロブライト

エアグルーヴの底力と武を信頼する。休養明け2走、実に不甲斐ないものであったが、それでも前走は多少走りが改善されていた。叩き3走目、現役最強馬の賞祿を改めて4歳馬に示して欲しい。菊花賞を逃げ切ったセイウンスカイが当然もっとも手強いが、今回は典型的な逃げ馬がこの馬のみ、こういうときはペースが落ち着きそうで逆に速くなることが多い。小回り中山とはいえ、歴戦の兵達を相手に果たして逃げ切れるだろうか。おそらく1番人気であろうが、掛かり癖のあるエモシオンが大歓声で掛かるであろうし、全ての馬の標的となるこの馬が逃げ切れるほど有馬は甘くないと思う。そう推理する展開だけに恐いのがユーセイトップランだ。てっちゃん騎乗だけに間違いなく最後方待機策からの直線勝負。ハイペースと中山の時計がかかる馬場に先行勢が潰れるようなら一気に浮上する。はたしてダイウサクのようにはまるか

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

タイキシャトルは3着。この敗戦をどう見るべきか。休み明け激走の二走ボケ？確かに前走の5馬身差は走りすぎのような気もするが…しかしそしたら、トライアルから本番に向かう馬の全てに2走ボケを考慮しなくちゃならない。私は、もう一つの理由、引退戦ということで厩舎が目一杯仕上げなかったのではないと思う。私の記憶する限り、1流馬が引退戦で勝ったのは、オグリキャップだけだ(引退するつもりでなかったが、結果的に勝ったレースが引退レースになったことは何度かある)。引退後の繁殖活動に支障が出てはいけないうち、関係者が無意識のうちに調教をセーブしてしまうのではないか。シャトルも中間ビシビシとはやっておらず、太目の前走より更に馬体増。普通ならこの馬が差し返される場面など考えられない。やはり太かったのではないか。同じく引退レースだったエイシンバーリンも惨敗だった。

今年最後だから、いろいろ書かせてもらいましょうかね。まず、有馬記念の特徴だが、洋芝をオーバーシードすることで、見た目は緑できれいになったが、元来洋芝は根付きが悪いため、開催も後半になるとかなり掘れてきてしまう。また、中山直線の急坂を2回も駆け上がる必要があり、100mしか変わらなくても、中距離馬が活躍するJCと比べ、やはりスタミナのある長距離馬に分がある。また、どんなにスローペースでもそのような馬場状態のため、上がり35秒台がやっとである。今年、確実に逃げるだろうと思われるセイウンスカイはSペースで逃げる馬ではなく、Mペースで、ラスト3ハロンは36秒を要する力の勝負になるだろう。

「今年の4歳は強い」というセリフはもう聞き飽きた。ここ数年、毎年言われる。日本の調教技術が上がり、馬が早いうちに完成するようになっているので、今や、馬が完成するのは5歳春なのではないか

と思う。その点を考え、今年の4歳が強いかどうかは、古馬との相対論ではなく、各世代毎でどうなのかを考えないと、誤った認識のもと予想することになってしまう。私が思うに、現5歳世代はかなり弱い(牝馬は結構強い)。6歳世代は結構強い。4歳世代は外国馬はかなり強いが、その他は標準以下といったところか。今年の4歳が強いといわれるのは、5歳馬が弱いからだと考えている。

さて展開だが、他に逃げ馬がないのでセイウンの逃げは確定。3角あたりから、エア、グラス、ダイワ、ビッグあたりが早めに動き出すか。いや、ビッグはいままで走った距離から3角で手応え一杯。エアも、正攻法で押し切るほど往年の力はないと武自身わかっているだろうから、早めには動かない気がする。ダイワはスピードのある馬ではなく、4角先頭には持ってこれないだろう。そうすると、早めに捕らえに行く可能性のある馬はグラスただ1頭であろう。その他の有力馬は早めに動いては味がないので直線勝負にかけられるしかない。

本命はセイウンスカイ。今までよりマークがきつくなるのでつらい面もあろう。しかし、上記のように展開を読んでいるのでさほどでもないかと思うし、重賞を逃げてちぎって勝つにはそれなりのずば抜けた能力があるからこそ。そして、これはまだ実証されていないが、私は押さええていっても終い切れる脚を使えるはずと思っている。天皇賞・春を勝ったときのトップガンのようにだ。逃げてこそそのタイプではない。そして、これこそまだわからないが、その地味な血統的背景から、オグリキャップやタマモクロスのような突然変異的な強さを持った馬かもしれないと思っている。

相手筆頭はブライト。展開の読みが外れて、思いがけなく各馬が早めに動き出した場合を考慮する。典型的なステイヤーで、JCを使わなかったのもよいし、内国産の鹿毛で立ち直りが早いはず。最も堅実な末脚を繰り出すので、展開の読みが外れた場合には軸馬にもなりうる。

その他だが、過去10年を振り返ると連対馬はG1での勝ち負けに加わっていた馬。または、G1の適鞍がなかった外国馬(レガシーワールド)。例外はダイウサクだが前走(2週前)で勝っており、絶好調だった。意外に荒れるとの印象の強い有馬だが、G1で連対できない馬の連対はない事実を受け入れざるをえない。このことから、オースミ、キング、サンライズ、ドーベル、ビッグ、ユーセイ、エモシオンはいらない。さらにキングは頭が高い走りでも今後G1で通用するとは思えない。サンライズは中距離向きだし、G1では確実に差がある。ユーセイは左回り、直線の長いコース向き。またG1では足りない。エモシオンは入れ込みが解消しない馬で、あれではG1では通用しない。オースミ、ビッグは論外。ドーベルは牡馬混合の重賞ですら勝てない馬。前走は展開がはまったから勝てたが、有馬は例年上がりがかかり、33秒台の切れ味は必要とされない。

残るはG1連対歴のある馬だが、オフサイドは前走天皇賞勝ちで種牡馬としての箔をつけたし、引退レースであり無理はしまい。2000までしか実績もなく2500は長い。グラスは前走残り400までは楽勝かと思われたが失速。ハンデ57キロは確かにきつかった。休み明け3戦目で調子上昇、55キロと状況は好転するが、私が気にするのは血統である。シルヴァーホーク産駒は案外成長力がなさそう。ミラクルタイムしかり、アメリカのシルヴァーチャームも今年勢いが止まった。マチカネテルテルも成長が伺えない。そして母の父ダンチヒである。ハギノリアルキングもそうだが、父が長距離血統でも母方の血の影

響でG1での一押しがきかない。去年の菊花賞1,2着のマチカネとダイワだが、近年最弱と思われる世代の2頭。有馬が最後の切れ味勝負になるわけもなく、休み明けで、休み明け前の2レースもさえないマチカネに出番はない。ダイワはエモシオン同様イレ込みの激しい馬。その影響で結局重賞でも掲示板程度に落ち着きつつあるし、ましてG1では通用しそうもない。

となると、他に印をつける馬だが、エアは上記の通り、このレースが引退レースということもある(調教も軽め)し、あくまで最大目標はJCだったはず。去年よりきついローテ。また、とうのJCもエルコンドルが強かったわけではなく、他の馬が弱すぎたと私は考える。外国馬は近年最弱。SウィークはロイヤルタッチレベルのSS産駒。1800までしか走ったことのないエルコンドルに勝たれるとは、エアも去年より確実に力は落ちている。しかし武に乗り変わるし、ヒシアマゾンとならんで史上最強牝馬の1頭といえるだろう。敬意を表して△。ステイゴールドはあくまで天皇賞が大目標だったはずで、前走の負けは度外視してよい。JC大敗後、有馬好走パターンは過去いくらでもあり、春のG1でも前走凡走後人気薄で2着に来ており、今回もそのパターンで来ることも考えられる。シルクはもともと叩いて叩いてよくなるタイプ。ピークで1走だけ好走する馬で、JCでのスムーズな折り合いに復活の兆し有りと考えている。スプリンターズでもそうだったが、中山コースは適性を重く見る必要がある。

◎…セイウンスカイ ○…メジロブライト

▲…ステイゴールド、シルクジャスティス △…エアグルーヴ

この5頭以外とすると、前走勝ったドーベル、中山適性ともともとの力を考慮し、グラスか。今、最悪の状態である。13日の6Rを当てて以来、13連敗である。全く当る気がしない。自分が買っていない馬券を買えば当るような気がする。今年中に臍を出し切るか。現在の回収率56.2%

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎…セイウンスカイ、○…グラスワンダー、▲…メジロブライト

△…エアグルーヴ、メジロドーベル、エモシオン

競馬に絶対はないと言われるが、まさかタイキシャトルにも当てはまってしまうとは。しかも、3着にまで落ちた。あれほど完璧だった馬とは思えないレースぶりであった。どんなに強い馬でも過信は禁物ということか。

オーラス有馬記念はすっきりと当てて今年を終わりたいものである。昨年までは最後の砦・東京大賞典があったが、今年は12月23日に実施され、有馬記念が本当に最後となってしまった。

最後はセイウンスカイで勝負。京都大賞典でブライト、ジャスティスを完封し、個人的には距離が長くつぶれるだろうと思っていた菊花賞をレコードで圧勝されては、本命はこの馬以外にいない。出走馬をみても、逃げ馬はおらずこの馬がペースを作るのは確実。菊を勝ったからと言って3000mよりは2500mの方が明らかにいいだろうし、斤量も古馬マイナス2kgの55kgである。これだけの材料が揃っていながら凡走するとは考えにくい。菊からの直行で調整もしやすいはずで、軸としては最適な馬である。ここを勝つようであれば年度代表馬も見えてくる。

今年の4才世代は、めちゃくちゃ強いのかもかもしれない。先週のマイネルラヴ、JCはエルコンドル、阪神牝馬Sはエガオヲミセテ...となれば、セイウンスカイの相手も4才馬でグラスワンダーの復活にかける。復帰2戦がだらしくなく、早熟だったのかと思わせる感じもあるが、アルゼンチン共和国杯では、直線一時先頭に立って見せ場は作った。本来ならばあそこからもう一伸びするのであるが、まだ体調が戻っていなかったのだろう。エルコンドルとは差が開いてしまった感じもするが、なにせ骨折で10ヶ月も休んでいたのである。休み明け3戦目の今回はガラリと変わってくれるのでは。23日のスポニチに

よれば、虫下しをかけて体調も急上昇とのことなので、的場がエルコンドルを捨ててグラスを選んだことをもう一度信じてみる。

本来であれば、5才のこの時期が競走馬として最も充実している時期。4才に負けてられないメジロブライトが3番手。宝塚でケチがついたが、距離不足の天皇賞は度外視。ステイヤーズS、AJCCと連勝した中山で、古馬勢では筆頭であろう。

さすがにこれだけの馬が揃うと目移りするが、エアグルーヴ、シルクジャスティスには去年の勢いが無い。ジャスティスなんぞは、今年は腹立たしいほど不甲斐ない走りをしている。スプリンターズSでのシーキングザパールはまさしく武ならではであり、河内には悪いがはっきりと腕の差が見えた。ということでグルーヴは武に戻ったことで、惜敗がストップしそうな気もするが去年の凄みがない以上、押えまで。牡馬に混じると限界がみえるドーベルであるが折り合いさえつければ、エリザベスのように鬼脚を使うのでノーマークにはできない。去年は惨敗したが今年は馬が違うので、ひょっとしたら狙い目かも。最後に滑り込みセーフとなったエモシオンにも要注意。

— F E L A —

どう考えてもセイウンスカイは外せない。例年好成績を残す菊花賞馬。しかも、調教も順調ときてる。間違いなく本命である。新聞によると、世代的には4歳と6歳の対決ムードらしい。こういう時は決まって5歳がくる。最近の好調さ、力のいる中山との相性などを考えると、牡馬よりも、牝馬メジロドーベルの方が気になる。去年の菊花賞馬マチカネフクキタル、同じく2着馬ダイワオーシュウ、怪物復活なるかグラスワンダーなどの牡馬も確かに気になるが、年内未勝利で有馬をとったのはあのトウカイテイオーだけとくれば、容赦なく切り捨てることができる。今回はセイウンスカイ、メジロドーベルの2軸で勝負。相手には、秋フル回転がちょっと気になるが、確実に成績を残しているスティゴールド、同じく疲れがかなり気になるエアグルーヴ、4歳でそろそろ来ても良さそうなエモシオンを選びたい。エアグルーヴについては使い過ぎで可哀相な気もするが、引退で久々に武が騎乗となれば何かを期待せずにはられないでしょう。

◎セイウンスカイ、メジロドーベル

△スティゴールド、エアグルーヴ、エモシオン

～ マニーフレンズ ～

スプリンターSは予想通りタイキが連をはずれてくれたため、大儲けをしました。今年の予想は絶好調でした。最後の有終の美を有馬で飾ることにします。

ところで、私ははっきり言って、「セイウンスカイ」という馬は嫌いです。

理由1. 「逃げ馬の美学が感じられない。」

昔は、ツインターボやキョウエイレアといった、悲壮感にあふれたステキで個性がある逃げ馬が多かったなあ。

それに比べて、ミホノブルボンやセイウンスカイなんて単に速くゴールするだけ。ちっとも逃げ馬らしくなくて、つまりません。

理由2. 「名前がダサイ」

ミホとか、ナリタとか、セイウンとか、ニシノとか、メジロとか馬主名が自分の名譽のために名前を付けているのでしょが、自信がないみたいで感覚的にいやです。(社台も昔はそうだったっけ)。でも「マチカネ」は例外です。

理由3. 「ダービーを勝てない2冠馬なんて品がない」

意味不明です。

従って、予想は以下のとおり。

◎ステイゴールド ○マチカネフクキタル

△エアグルーヴ、キングヘイロー、グラスワンダー、シルクジャスティス、
メジロブライト、メジロドーベル

— 鈍才 洋二郎の無い知恵絞 —

洋二郎です。なんと、あのタイキシャトルが負けてしまわれました。PATの残金を見て、2度悲しくなりました。ここで当てないと、国に帰る気も失せてしまいます。

1番人気が予想されるセイウンスカイ。前走の強さはきっと本物なのでしょう。コンスタントに長距離を走りきる能力には、脱帽です。でも、今回は小回りの中山。本命は、彼をマークしながら更に切れる脚を使えるエアグルーヴ、とメジロブライトにしました。エアは、4コーナーではセイウンスカイを射程圏に捉えるでしょう。セイウンは35秒そこそこで上がるでしょうが、エアが捕まえきれないとは思えません。ブライトも、京都大章典では負けはしましたが、4コーナーまで油断があったのではないのでしょうか。2頭を大本線とします。あと、グラスワンダーも気になります。前走は、余裕をかました直線入口のわりに案外の結果でしたが、何せ「怪物くん」と呼ばれたワンダーホースのこと。注意深く買い続けないと来た時悔しいので、買っておこうと思います。残りは、当然、セイウンスカイ。そして強い4才エモションまで。

◎エアグルーヴ、メジロブライト

△グラスワンダー、セイウンスカイ、エモション

— 予想はウソヨ 四国の井崎 —

さあ、締めくくりの有馬記念。バッチシ決めたいものです。まずはタイム評価から。厳しいG1レベルを基準に持ってきたのでプラスはほとんどありません。

	3走前	2走前	前走	
セイウンスカイ	-0.3	-0.3	+1.3	A
エアグルーヴ	+0.3	-1.1	+0.2	B
キングヘイロー	-1.2	-0.1	+0.6	C上昇
ダイワオーシュウ	-1.7	+0.2	-1.1	
エモション	-1.1	-1.4	+0.6	
オフサイドトラップ	-0.5	-0.1	+0.0	上昇
グラスワンダー	-0.2	-0.6	-1.3	
ステイゴールド	-0.9	-0.2	-0.8	
ユーセイトップラン	-1.9	-0.7	-0.2	上昇
オースミタイクーン	-0.3	-3.2	-0.9	

両メジロ、シルクジャスティス、マチカネフクキタルのG1馬がリミットの-0.3秒をクリアできず落選してしまいました。

今年の4歳馬のレベルは高い。そして皐月賞、ダービー、菊花賞の時計は非常に優秀だ。中でも菊は格別です。これを逃げ切りでマークしたのだからセイウンスカイの強さは別格とも言えます。先週、メ

ジロランパート(菊4着)が冬至特別をハンデ頭で楽勝し、2着も菊11着のシンボリクラウンが太目ながらも2着したのを見て菊組のレベルの高さを痛感しました。

しかし、エアグルーヴの1着はワルツ理論で12月3日に大予想している。「ワルツ理論は崩れたと思ったが、どっこい、武騎手ならエリザベス女王杯は2着、ジャパンカップで武騎手がスペシャルに乗ってればスペシャルが2着になりエアは3着だったということで崩れていない。そう、次は1着の番だ。有馬記念は武騎手が乗るという条件で1着を今から大胆に予想する。」全成績(9-5-3-1)からは引退レースは2着か?とも思えてくるが(2着にくると、9-6-3-1と収まりがいい、タイキシャトルも3着になって11-1-1-0ときれいに収まった(11=11))、しつこく当初方針を維持する。すでに記念の単勝馬券1000円は中山指定席観戦予定の奥田さんに頼んでいる。

相手は4歳牡馬陣を主体にオフサイドを押さえる。

◎…エアグルーヴ ○…セイウンスカイ ▲…キングヘイロー

△…オフサイドトラップ、グラスワンダー

今年の中山は時計がかかっている。先週日曜日はメジロライアンの子の4歳馬が日曜日に2勝。アマトーベン、メジロランパート。この情報から当初はメジロブライト、メジロドーベルを重視していたがタイム評価で落選してしまった。どうせ人気になるので買わないことに決めた。特にブライトは、天皇賞直線坂上で一瞬ヤラレタ!と思われる勢いがあったのにパッタリと止まってしまった負け方が気にいらない。

それより特注馬はキングヘイローとオフサイドトラップ。タイムが上昇している。ローテーションもいい。キングヘイローは神戸新聞杯のパドックでは子供のままで成長がないと見限っていたら、京都新聞杯そして菊花賞とぐんぐん良くなった。福永が気楽に乗ればジャスティスのような一発があるかも知れない。

いつもは有馬の後に行われていた東京大賞典は1人気アブクマポーロ、メイセイオペラで超堅く終了(馬単で570円)した。有馬はさてどうなるか?

第43回 有馬記念

					16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
					エモシオン	ビッグサンデー	メジロドーベル	キングヘイロー	ユーセイトップラン	セイウンスカイ	メジロブライト	サンライズフラッグ	シルクジャステイス	オースミタイクーン	オフサイドトラップ	ステイゴールド	ダイワオーシュウ	エアグルーヴ	グラスワンダー	マチカネフクキタル	馬名
					松永幹	高橋亮	吉田	福永	佐藤	横山典	河内	安田康	藤田	武幸	蛭名	熊沢	柴田善	武豊	的場	岡部	騎手
								△	▲	○	△					△	△	◎			トウインクルンデー
										◎	○		▲			▲		△			TP
					△		△			◎	▲							△	○		ライオンシャワ
									○	▲	◎		△		△		△			△	心配御無用!
							◎			▲	△		△		△			△	○		ミスターX
							△	△		△	△		△			△		△	◎		ドロングジョ
					△		◎			◎						△		△			FELA
							△	△		▲	△		△			◎	△	△	△	○	たーちゃん
					△			△		▲	△		△				△	△	△	◎	おけらくん
										▲	◎						△	△	△	◎	洋二郎
										▲	◎							△	△	◎	へなりん

	ｽﾌﾟS	有馬	ﾌｪﾌﾞ	桜花	皐月	天春	NHK	高松	オークス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	リ女	マイルC	J C	阪牝	朝日	ｽﾌﾟS
トウインクルンデー	○			◎										☆		○		○	○		○
TP	○		☆							○						○		○			
ライオンシャワ		○		◎				◎								○					○
ラッキー								◎		○						○					○
心配御無用!	○	○														◎		○			○
YO	○	○		◎												○					○
ミスターX		○			○			◎		○											○
ドロングジョ	○															○		○			○
FELA					○											○					○
たーちゃん																◎				☆	
おけらくん																○		○			
洋二郎																			○		
へなりん					○																
	○	…	…	20倍	◎	…	…	20~50倍	☆	…	…	…	…	50倍	…						

次号はフェブラリーSです。みなさん良いお年を